

トラスト・テック 決算説明資料

(2016年6月期)

株式会社 トラスト・テック 2016/8/5



2016年6月期 (第12期) 決算概要

2016年6月期 連結業績



- ・ 2016年6月期実績は、前年比で+93億円増加(前年比+44.8%)、 営業利益は+9.5億円増加(前期比+59.6%)と前年比で「2桁増収」「2桁増益」
- ・ 2016年2月に発表した上方修正計画を上回る成長

単位:百万円

	2015年6月期 (11期)		2016年6月期 (12期)		増減額	前年比
	実績	構成比	実績	構成比		
売上高	20,819	100.0%	30,143	100.0%	+9,324	+44.8%
営業利益	1,597	7.7%	2,549	8.5%	+951	+59.6%
経常利益	1,623	7.8%	2,528	8.4%	+905	+55.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,024	4.9%	1,523	5.1%	+499	+48.7%
1株当たり当期純利益(※1)	53.39円	_	78.91円	_	_	_
1株当たり配当金(※1)	30.00円 (連結配当性向56.2%)	_	40.00円 (連結配当性向50.7%)	_	_	_

トラスト・テックグループの主要領域



技術系領域

研究·開発

設計·解析

試作·実験

生産技術

製造系領域

加工·組立

仕上げ・検査

梱包·出荷















- ・開発/設計業務
- ・実験評価業務

- ・生産技術業務
- ・ソフト開発業務

・加工/組立業務

・検査/梱包業務

技術社員数

(2016年6月末)

3,362名

技能社員数

(2016年6月末)

2,150名

売上高 構成比 72.6%

セグメント利益 構成比 90.3% 売上高 構成比 27.3%

セグメント利益 構成比 11.3%

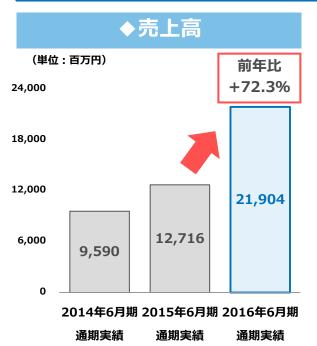


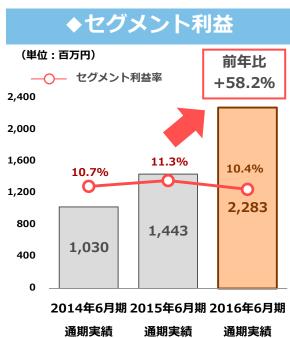
■技術系領域

増収 増益

売 上 高 :219.0億円 前年比 +72.3% セグメント利益: 22.8億円 前年比 +58.2%

- ① 自動車や半導体メーカー等からの人材ニーズが引き続き堅調に推移
- ② 今期M&Aした子会社も業績に寄与、利益率はM&A一時費用等で低下







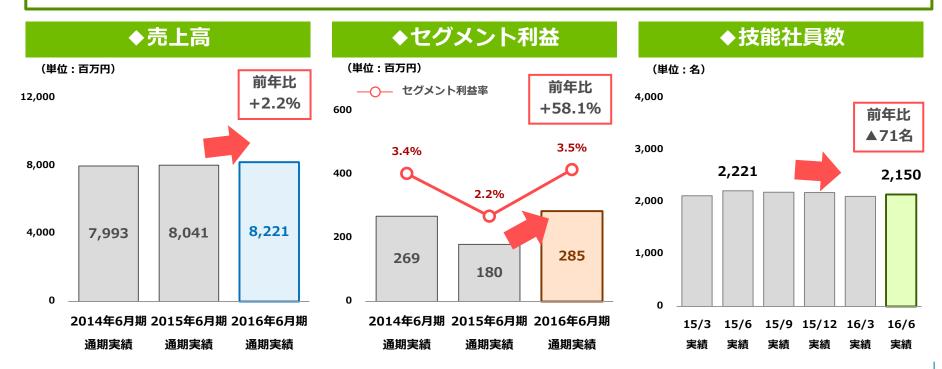


■製造系領域

増収 増益

売 上 高 : 82.2億円 前年比 +2.2% セグメント利益: 2.8億円 前年比 +58.1%

- ① 採用マッチングの効率化や案件利益の確保など、利益体質の強化を推進
- ② 利益確保を重視しつつも、受注は輸送用機器メーカー等から増加



2016年6月期 連結貸借対照表概要



(単位:百万円)

	2015年6月末		6月末
	実績	実績	増減額
資産	7,725	11,914	+4,188
流動資産	6,551	8,984	+2,432
固定資産	1,174	2,929	+1,755
負債	3,319	6,591	+3,272
流動負債	3,287	6,531	+3,244
固定負債	31	60	+28
純資産	4,406	5,322	+915
株主資本	4,409	5,323	+914

①現預金·売掛金

・売上伸長に伴う増加

①無形固定資産

- ・M&Aによる のれん の増加
- ②投資その他の資産
- ・相模原ビル売却により、 投資不動産が減少

①短期借入金

- ・買収資金の銀行借入増加
- ②未払費用·未払税
 - ・売上伸長に伴う増加

自己資本比率: 57.0%

自己資本比率:44.6%



2017年6月期(第13期) 通期業績予想

2017年6月期 連結業績予想



- 2017年6月期の売上高業績予想は前年比+39.3%の420億円、 営業利益は同+22.4%の31.2億円
- 1株当たり配当金は前年比+5円増配の45.00円と予想 (中間配当金15.00円/期末配当金30.00円)

単位:百万円

	2016年6月期 (12期)		2017年6月期 (13期)		増減額	前年比
	実績	構成比	予想	構成比		
売上高	30,143	100.0%	42,000	100.0%	+11,856	+39.3%
営業利益	2,549	8.5%	3,120	7.4%	+570	+22.4%
経常利益	2,528	8.4%	3,100	7.4%	+571	+22.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,523	5.1%	1,870	4.5%	+346	+22.7%
1株当たり当期純利益 (*1)	78.91円	_	96.63円	_	_	_
1株当たり配当金 (※1)	40.00円 (連結配当性向50.7%)	-	45.00円 (連結配当性向46.6%)	-	_	_

2017年6月期 連結業績予想の内訳※1



○ 売上高

(※1)

420億 (前年比 +39.3%)

技術系領域

技術系領域 売上高 257.7億

前期に引続き、積極的な採用と、人材ニーズが堅調な輸送用機器メーカーや、半導体・半導体製造装置各社への配属をすすめる

製造系領域

製造系領域 売上高 88.0億

● 地域密着営業の強化を促進

海外事業

海外事業 売上高 **75.2**億

- 2016年8月30日付で子会社化を予定している 英国Mtrecが業績に寄与
- 中国上海及びインドネシアへの現地法人設立を予定

○ 連結調整前^(※1) | 営業利益

37.3億(前年比+25.4%)

技術系領域

技術系領域 営業利益 29.1億

▶ラスト・テックに加え、前期新たにM&Aで連結子会社化した各社の業績も順調に寄与

製造系領域

製造系領域 営業利益 3.8億

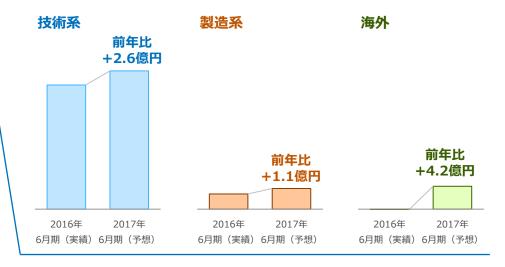
● 前年度の利益体質を維持しつつ拡大を目指す

海外事業

海外事業 営業利益 4.2億

● 2016年8月30日付で子会社化を予定している 英国Mtrecが連結業績に寄与







英国の人材派遣会社 「MTrec」の子会社化について





TREC. 製造領域を中心とし、地元であるイングランド北東部で、大きく売上高を伸ばしている人材派遣会社

会社名	MTrec Limited
設立年	2006年3月
本社	イギリス(Newcastle Upon Tyne)
業績	売上高:£44,922k / 税引前利益:£2,328k (2016年3月期)
従業員数	53名
派遣スタッフ数	2,827名 (2016年3月末)
事業内容	製造スタッフ及び技術者の派遣業、人材紹介業 看護師やヘルパー等のケア人材サービス (子会社MTrec Care社)
代表者	David Musgrave (創業者・Director)



MTrecが本拠とするイングランド北東部には、自動車関連メーカー等の製造業が集積しており、日系企業も多数進出している

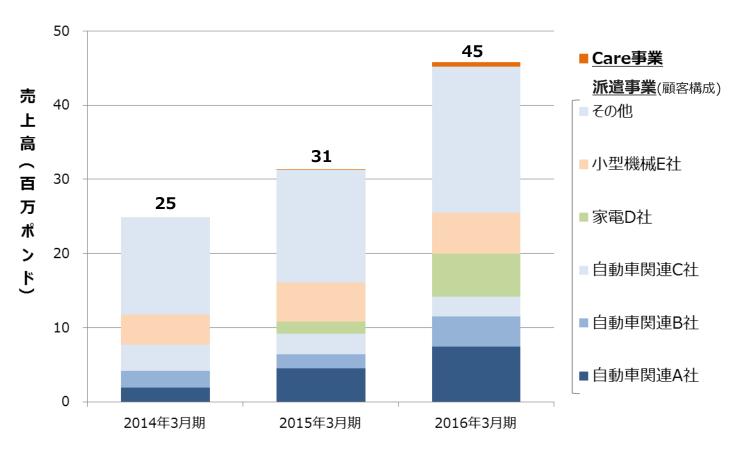




ダーラム州ニュートン・エイクリフ: 日立レールヨーロッパ社の鉄道車両工場



地元で大口顧客との取引深耕や、新規顧客の獲得を進める事で、売上急伸と 顧客基盤の拡大・強化、さらには事業効率の高さによる収益性を実現



取得株式



✓ 創業ディレクターが株式を一部継続保有し、現経営陣と共に今後も成長を牽引

1,700株

- ✓ アーンアウト※により投資リスクを軽減
 - ※今後の業績成長の実現まで、支払の一部を繰延べる方式

MTrecの株式

取得後の株主構成	当社 David Musgrave (創業者・Director)	1,700株(85.0%) 300株(15.0%)
取得対価	約1,440 ~ 2,30	09百万円 (約£10,664k ~ 17,104k)
初回支払額 (2016年8月30日)	約1,440百万円	(約£10,664k)
繰延支払額 (2018年5月予定)	約0 ~ 869百万 ※株式売買契約書に基づき、取 支払額を決定致します。	円(約£0~6,440k) 得後のMTrecの業績達成度合いに応じて
		(糸字1, _ ト・ 11 – 135 00円)

(参考レート:£1=135.00円)



株式会社トラスト・テック中期経営計画



当社の中期経営計画(2015年8月発表)

自立成長とM&Aを両輪とし、

- 「年率20%以上の成長スピード維持」
- 「連結営業利益率10%の達成 |

を目指す

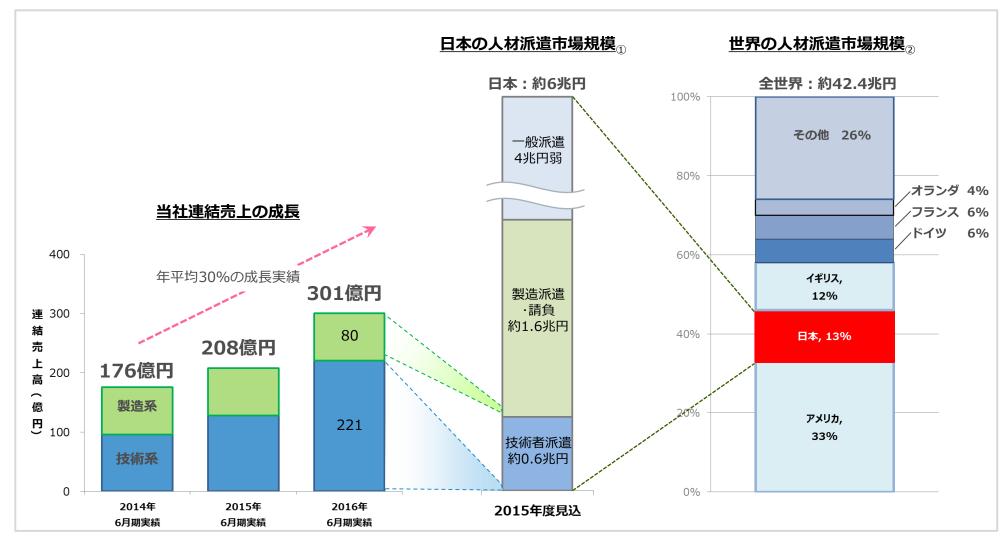
成長戦略の進化・具体化

成長スピードに加えて、「競争力を伴った成長」を志向

(A)地域 及び (B)領域 において、「当社独自のポジション」
を確立し、競争力の拡充を目指す



自立成長とM&Aにより、当初想定よりも早く、売上高300億円に到達したが、今後も同様の成長スピードでの業容拡大を展望すると、日本国内の技術/製造系市場だけでのスピード維持は困難になりつつある。一方、世界では欧米先進国を中心に約40兆円の人材派遣市場が存在する。



出所: ①矢野経済研究所 ②Market share of the global staffing industry 2015、Staffing Industry Analysts 「World's Largest Staffing and Recruitment Firms」



(A)地域:

「**技術・製造派遣**において 世界複数国に事業基盤」 を持つ

(B)領域:

従来の機械・電気系領域から IT・ソフト領域の拡張、 成長著しい「IoT」や「AI」の 領域へも拡大を図る

現在展開している市場(国内・技術製造系)では成長スピードの維持が困難

- ✓ 国内の技術派遣は収益性高いがニッチ市場、製造派遣は市場規模は大きいが低マージン
- ✓ 一方で、世界の派遣市場は日本の約7倍の規模を持ち、欧米先進各国で市場が確立

国内市場において、今後大手プレーヤーとの競合激化のリスクが高まりつつある

- ✓ 昨年の派遣法改正により、従来の特定派遣(無期雇用)・一般派遣(有期雇用)の垣根が消失
- ✓ 派遣各社は人材不足から無期雇用社員を増やす方針を採り、技術・製造領域でも脅威に

グローバル顧客のニーズに、世界複数国での対応が可能に

✓ 顧客であるメーカーの設計・開発・製造現場は既に海外に多国展開。これらメーカー顧客に 向けて世界複数国で人材サービスを提供できれば競争力向上の可能性が強い

事業・経営ノウハウの活用可能性

- ✓ いわゆる一般・オフィス派遣の業界ではグローバル大手・日系大手各社が世界展開済み
- ✓ 派遣事業の事業・経営ノウハウは、世界の先進・成熟市場に共通して有効と認識

重要性を増す「IoT」「AI」領域での人材サービス余地が大

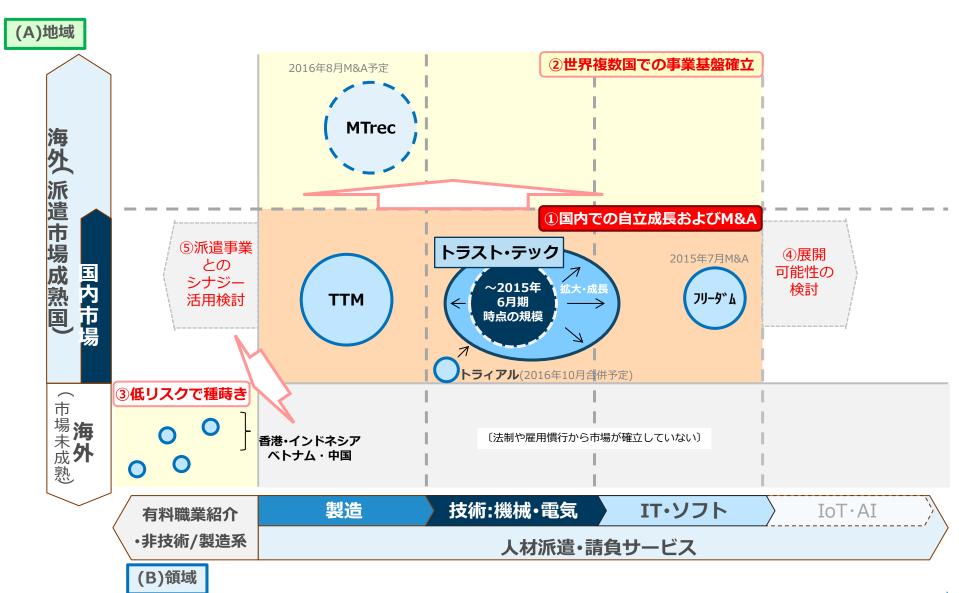
✓ 当社はM&AによってIT・ソフト領域を拡張に努めており、 さらに今後の人材ニーズとして「IoT」や「AI」といった領域の重要性を認識

当社は必要な人材を供給出来得るポジションにある

- ✓ 当社のような「機械・電気系」と「IT・ソフト」の領域の人材サービス企業にとって それら領域の融合・進化である「IoT」や「AI」で今後増加する人材ニーズに対応できる 可能性が高いと認識
- ✓ これが実現すれば、競争力が高まる可能性が大



既存の国内・技術/製造系事業を核としつつ、地域軸と領域軸で拡大・成長スピードの維持を目指す





今期からの実施・検討施策

- ① 国内の技術/製造系人材派遣市場での自立成長・M&A
 - 国内既存事業は年率10~20%の売上高成長
 - -技術領域(機械・電気・IT・ソフト)におけるM&Aの実施
- ② 世界複数国での事業基盤確立
 - 今期子会社化するMTrecのPMIの完遂
 - 欧米等の成熟した派遣市場での新たなM&A検討
- ③ 派遣市場が未成熟なアジアでの、リスクの低い種蒔き
 - -現地体制の拡充(法人設立等)(検討・準備中)
 - 中国における現地企業との協業検討
- ④ 〔中期的な取り組み〕新領域(IoT·AI等)への展開可能性の検討
- ⑤ 国内での派遣事業とのシナジーを活用した 有料職業紹介等の拡充

「競争力を伴った成長」を実現すべく、 自立成長とM&Aを両輪とし、

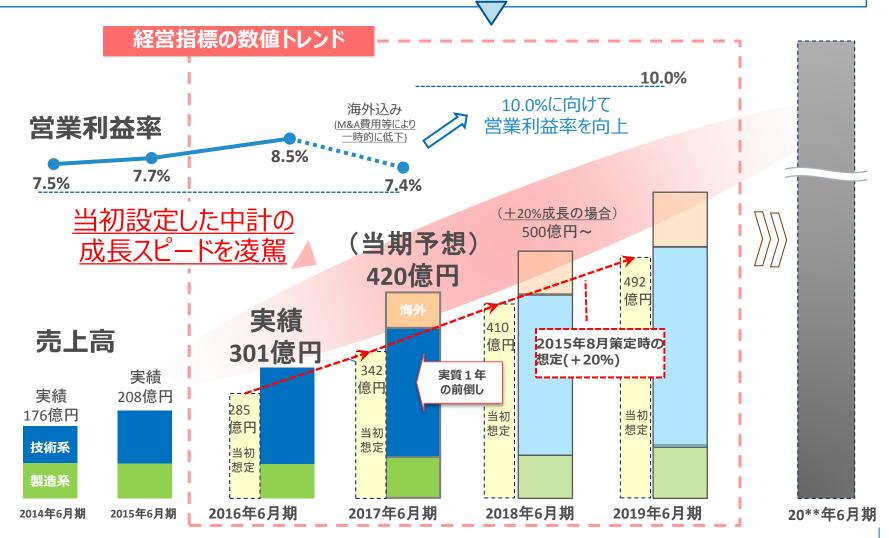
- ●「年率20%以上の成長スピード維持」
- ●「連結営業利益率10%の達成」

を目指す



方針とする経営指標

自立成長とM&Aを両輪とし、「年率20%以上の成長スピード維持」 「連結営業利益率10%の達成」を目指す





本資料は、当社の企業説明の提供を目的としており、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された推測や予測等は、本資料作成時点における当社の判断であり、情報の正確性を保証するものではありません。また、今後、予告なしに変更される場合があります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんので、ご承知ください。

(お問い合わせ先)

株式会社トラスト・テック 経営企画部

TEL 03-5777-7727

E-mail ir@trusttech-inc.jp

URL http://www.trust-tech.jp